

# 平成30年度 社会福祉法人慈照会事業報告

通常規模型通所介護事業  
認知症対応型通所介護事業  
短期入所生活介護事業  
訪問介護事業  
居宅介護支援事業  
介護老人福祉施設事業  
ケアハウス事業

## 平成30年度社会福祉法人慈照会事業報告

### 1. 総括

わが国経済は、企業収益が堅調に推移するなか、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあったが、米中の貿易摩擦や中国経済の減速などにより景気後退が懸念されている。介護業界では、4月に介護報酬改定が実施されたが、ますます厳しくなる人材不足が事業に大きな影響を与えている。

当法人では、介護報酬改定に伴う届出及び料金改定を実施した。また、社会福祉法人に義務付けられている地域の公益的な取組として、地域のサロンを支援するとともに、羊の飼育を通じて地域に憩いの場を提供し、従来になかった地域住民との交流を持つことができた。

職場環境改善のため、いくつかの取組を実施した。ケア総合記録システム、iPad、施設内Wi-Fi環境を整備、説明会を実施し記録を電子化した。勤怠管理の効率化のためシステムを導入し、時間外労働等改善助成金を申請、有給休暇取得促進、残業時間抑制に重点的に取り組んだ。県の福祉用具セミナー・展示会、滋賀県介護ロボットニーズ・シーズ会議を通じて、最先端の知識を学び、大きな刺激を受けた。移乗用リフトを導入し、職員の負担軽減に結び付いている。今後は、眠りスキャン（ベッド上の見守りシステム）の導入を予定している。

県内の施設で台風発生時に停電が発生し、施設運営に大きな影響を及ぼした。当施設では、非常用電源等が未整備であり、今後災害対策を進める。

人事労務管理について、エイデル研究所の昇給ガイドラインを参考に7月の正規職員昇給率は1.4%とした。10月に滋賀県の最低賃金のアップに合わせ、時給をアップし給与条件を改善した。人材確保、定着のための方策を実施したが、年間を通じて職員確保に苦戦した。

予算は達成したが、職員体制の影響もあり、法人全体の収入は昨年度より落ち込んだ。職員の確保、定着が引き続き最優先であり、その上で収入を確保していかなければならない。

#### ※重点目標

##### (1) 働きやすい職場づくりと人材の確保・定着

勤怠管理システム導入による業務の効率化・時間管理の徹底・有給休暇取得促進、移乗用リフト5台導入、セミナー等参加による福祉用具の使用推進、記録の電子化の実施、宿直手当見直し、滋賀県最低賃金のアップに合わせた時給変更、職員による求人職員紹介促進

##### (2) 職員教育体制の充実とキャリアアップの推進

人事評価と評価賞与・給与の実施、事業所単位の施設内研修の充実、滋賀県認知症研修及びその他施設外研修への参加

##### (3) 地域交流と貢献

社会福祉法人ラウンドテーブル企画（サロン支援、羊の飼育）の実践、東近江介護サービス事業者協議会会長・滋賀県介護サービス事業者協議会連合会副会長・滋賀県老人福祉施設協議会副会長施設としての活動、滋賀県介護支援専門員連絡協議会役員、東近江圏域介護支援専門員連絡協議会会長事業所としての活動、地域密着型介護事業運営推進会議の実施、地域行事への参加と実施、日本財団チャリティ自販機設置

## 2. 事業別報告

【通常規模型通所介護事業】（定員：30名）※営業時間変更（9：30～15：00→15：40）

予防を含む一日平均利用者数は27.2名（昨年比97.5%）となった。生活総合機能改善通信カラオケを新モデルに更新し、プレミアムコンテンツを導入し体操等の内容を充実させた。

重点目標： 職員の介護技術を向上しご利用者の個別援助、自立支援となるサービスを行う

定期的に勉強会を実施し、職員の質の向上に努めるとともに、ご利用者に合った排泄方法の見直し、個別リハビリに加え生活リハビリにも力を入れる。

結果：勉強会は営業時間が延びたこともあり、ほとんど実施できなかった。その他の取組についても不十分であった。個別リハビリについては数名実施できたが、生活リハビリまではできなかった。

【認知症対応型通所介護事業】（定員：12名）※営業時間変更（9：30～15：00→15：40）

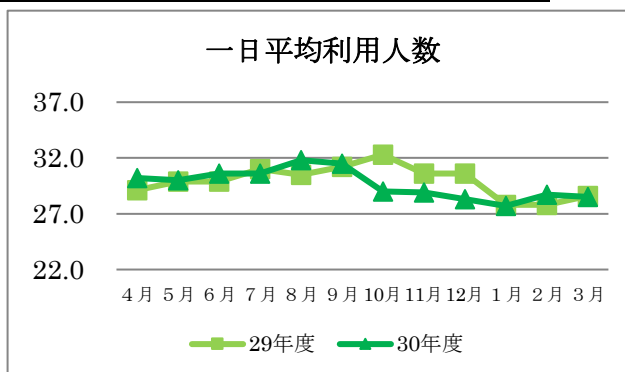
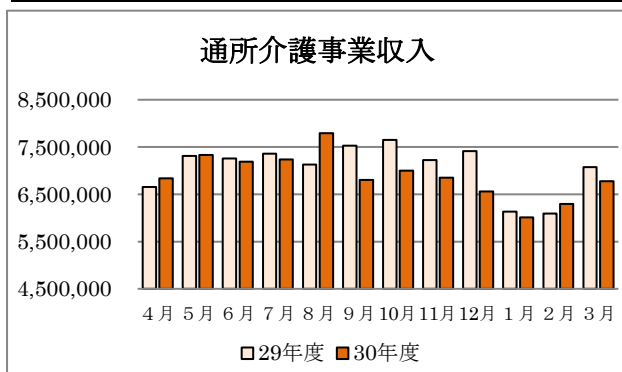
一日平均利用人数は2.3名（昨年比127.7%）となった。

重点目標：認知症ケアの向上により利用人数増加を目指す

個別ケアの充実、定期的なアセスメント・勉強会の実施、認知症基礎研修、実践者研修に参加し認知症ケアの向上を、利用人数増に結びつける。

結果：認知症ケア向上のため、認知症基礎研修には2名参加できたが、その他の取組については不十分であった。平均利用者数は昨年より増えた。

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	通常規模	認知症対応型	合計
4月	25	87	2	2.8	24.9	2.5	30.2
5月	27	94	6	3.1	24.6	2.3	30.0
6月	26	96	4	3.2	24.6	2.8	30.6
7月	26	93	5	2.9	25.3	2.4	30.6
8月	27	89	1	3.0	26.4	2.4	31.8
9月	24	91	4	2.9	26.2	2.4	31.5
10月	27	90	1	2.8	23.9	2.3	29.0
11月	26	86	4	2.7	23.9	2.4	29.0
12月	25	84	2	2.8	23.2	2.3	28.3
1月	24	80	0	2.6	23.2	1.9	27.7
2月	24	80	1	2.6	23.9	2.2	28.7
3月	26	81	2	2.5	23.8	2.2	28.5
年間	307	1051	32	2.8	24.4	2.3	29.5



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

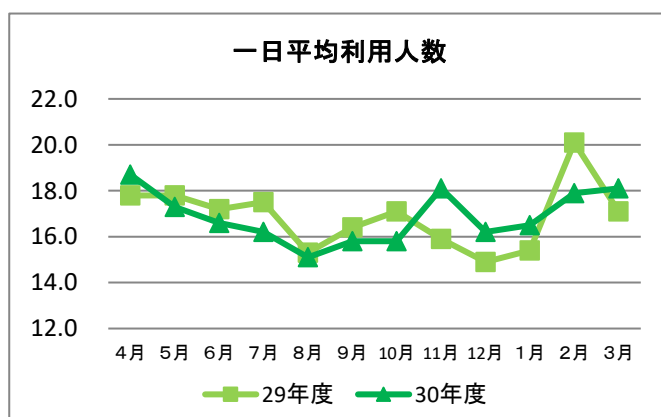
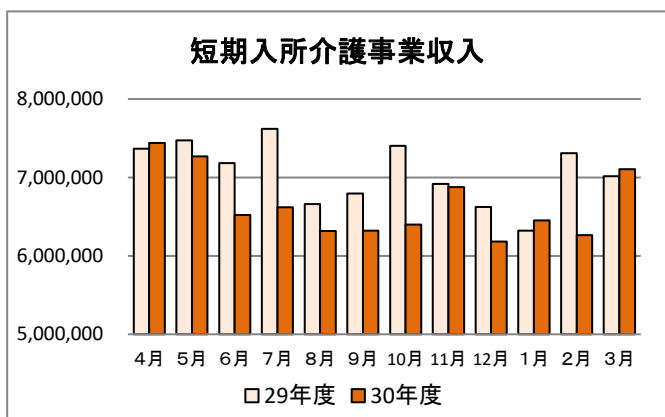
一日平均利用者数は、16.8名（昨年比100%）、稼働率105.1%となった。

重点目標：認知症ケアの知識、理解を深める

生活歴を理解し、対処のケアではなく、その人らしさを発見するケアを目指す。滋賀県認知症基礎研修、実践者研修の受講者を増やす。

結 果：認知症の症状や認知症の人と関わる為に必要な基礎知識を皆で共有し、理解を深めた。また、自身のケアを見直し、受けたいケアを考え、認知症介護の理念へとつなげた。認知症基礎研修を2名、実践者研修を1名受講した。

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率 (%)
4月	8	76	18.7	116.7
5月	5	77	17.3	108.3
6月	4	69	16.6	103.8
7月	4	72	16.2	101.4
8月	8	74	15.1	94.6
9月	2	65	15.8	98.8
10月	8	70	15.8	101.4
11月	9	77	17.7	110.6
12月	2	65	16.1	100.8
1月	7	71	16.4	101.6
2月	4	67	17.9	111.6
3月	3	72	17.9	111.5
年間	64	855	16.8	105.1



**【訪問介護事業】**

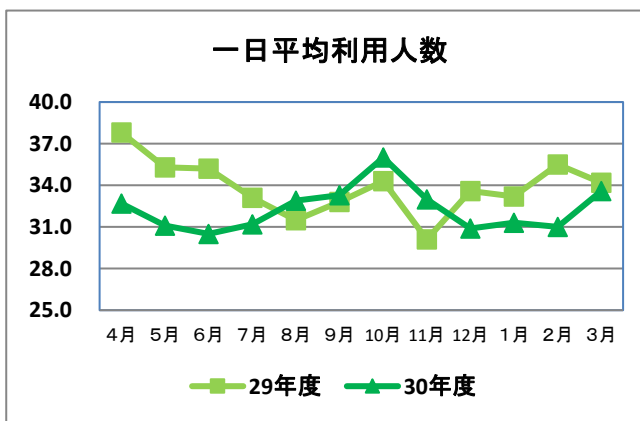
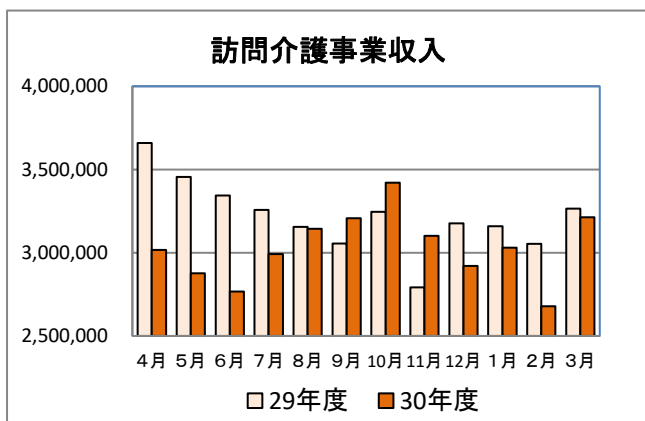
述べ訪問件数は11,822名、一日平均利用人数は32.3名（昨年比95.3%）となった。

**重点目標：** ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ったサービスの提供

その人らしい生活を安心安全に過ごしてもらう。常にきめ細かく、一瞬でも幸せを感じてもらえるサービスを提供する。在宅での介護であり、ご利用者ご家族に細やかな配慮をした支援をする。

**結 果：**ご利用者の出来る、出来ないを見極めて介護保険のサービスに徹した。出来るところはしっかりしてもらい、少しでも長い間在宅生活を続けてもらえるよう支援した。支援の難しいご利用者については、業務手順等を決めて支援をしたが、対応に苦慮することも多かった。

月	第1号訪問		介護		第1号訪問+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	11	57	50	925	61	982
5月	11	63	48	901	59	964
6月	9	52	51	860	60	914
7月	11	60	47	907	58	967
8月	12	67	53	951	65	1018
9月	13	67	49	966	62	1033
10月	13	72	55	1045	68	1117
11月	14	66	56	924	70	990
12月	13	64	51	892	64	956
1月	13	66	51	906	64	972
2月	13	61	44	809	57	970
3月	13	62	51	979	64	1041
年間	146	757	606	11065	752	11822



【居宅介護支援事業】

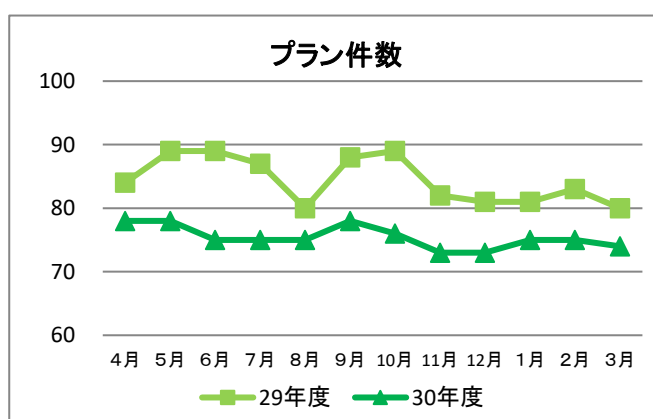
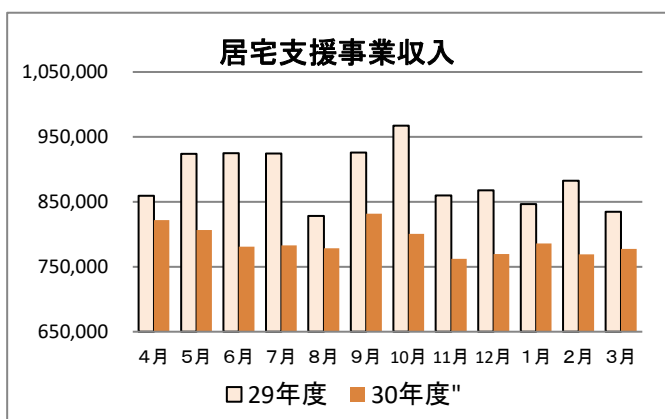
新規利用者が14件（昨年比82.3%）平均プラン件数は75.3名（昨年比89.1%）となった。  
ケアマネ1名の補充ができなかった。

重点目標：地域の暮らしと人生の最終段階において自立した生活ができるための支援

地域での生活から看取り期までの各生活ステージに応じて、客観的根拠と本人の物語を織り交ぜた個別プランを作っていく。

結果：利用者の生活史と終末期の意向の確認をアセスメント更新時期に応じて確認することができた。  
また、客観的根拠を示せるシートや手法の導入に努め、合同会議や担当者会議で試してきた。さらに保健所や県のケアマネ連絡協議会との連携に努め、その方向性に沿った対応に努めた。

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	5	9	27	16	7	9	5	78
5月	2	5	10	27	15	8	8	4	77
6月	1	5	10	26	15	8	7	4	75
7月	3	5	10	26	15	8	8	3	75
8月	0	5	10	25	13	8	9	5	75
9月	1	5	10	25	15	9	9	5	78
10月	1	5	10	25	14	11	8	3	76
11月	2	6	10	23	10	13	8	3	73
12月	2	6	10	25	8	14	8	2	73
1月	0	6	10	25	10	13	8	3	75
2月	1	6	10	24	12	12	8	3	75
3月	0	6	10	23	9	14	7	4	73
年間	14	65	119	301	152	125	97	44	903
月平均	1.2	5.4	9.9	25.1	12.7	10.4	8.1	3.7	75.3



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

平均在居者数は47.9名（昨年比98.4%）となり、かなり低い稼働率となった。職員体制が厳しい中、入院も多く、入退居の手続きもスムーズに進まなかった。

重点目標：ケア知識、技術の向上とともに職員間のコミュニケーションを大切にする

研修会、勉強会による基本的なケアに対する知識、技術の向上を図るとともに、職員間での意思統一を図れるようコミュニケーションに努める。計画的に行事開催を行い、生活に楽しさを提供する。

結果：勉強会については事前に内容、担当者を振り分けて確実に実施できた。行事については今までになかった内容もあり、楽しんでもらった。職員間のコミュニケーション不足については、課題が残った。

平成31年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	3	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	12
退居	2	1	1	1	0	1	1	1	3	0	1	1	13
在籍者数	52	54	54	52	52	52	52	53	51	52	53	54	52.5
在居人数	48.8	49.1	49.8	50.3	49.0	46.3	46.3	47.7	47.5	46.5	46.5	46.6	47.9

要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	6	5	12	19	12	54
構成比(%)	11.1	9.3	22.2	35.2	22.2	100.0

平均要介護度 3.48

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	91	102	102
最低年齢	75	77	75
平均年齢	85.0	88.3	87.9

年齢	男性	女性	計	構成比(%)
70～74歳	0	0	0	0
75～79歳	1	5	6	11.1
80～84歳	1	8	9	16.7
85～89歳	3	16	19	35.2
90～94歳	1	11	12	22.2
95～99歳	0	5	5	9.3
100歳～	0	3	3	5.5
計	6	48	54	100.0

入居者在居期間

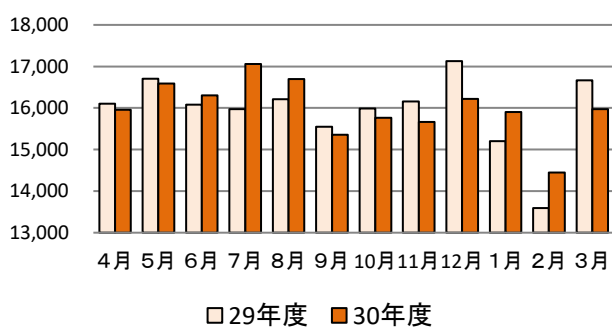
	男性	女性	平均
平均在居期間	21.5 ヲ月	56.2 ヲ月	52.4 ヲ月

在居期間	男性	女性	計	構成比 (%)
1年未満	2	7	9	16.7
1年以上2年未満	2	10	12	22.2
2年以上4年未満	1	7	8	14.8
4年以上6年未満	1	9	10	18.5
6年以上8年未満	0	10	10	18.5
8年以上10年未満	0	2	2	3.7
10年以上	0	3	3	5.6
合計	6	48	54	100.0

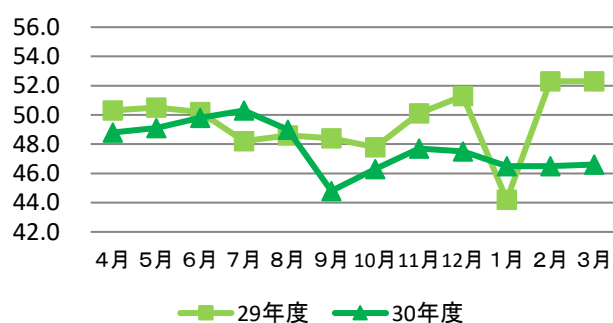
待機者数 ※介護保険認定有効期間内の方

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	1	16	29	17	67
構成比 (%)	5.9	1.5	23.9	43.3	25.4	100.0

介護老人福祉施設収入



在居人数





【ケアハウス事業】（定員：15名）

年間を通じて、4名が入居、3名が退居した。夫婦部屋の空きが解消し年度末時点で満床となった。

重点目標：創意工夫し生活満足度を上げ、宣伝活動等により待機者確保に繋げる

行事内容、回数を充実させ、趣味活動やサークル活動を少人数からでも取り組む等生活満足度を上げる。

ホームページ等でケアハウスの行事等生活状況を随時発信し、宣伝活動を進める。

結果：生活満足度を上げる為、希望の多い食に関する行事を中心に実施した。外出行事は、デイサービス利用者が多く、実施しなかった。日曜日にカラオケを実施、後半には昼食時間を利用しお酒を飲みながらカラオケパーティーを実施し好評であった。宣伝活動では、ホームページの活用は進まず、電話やケアマネ来所時の口頭での宣伝活動がほとんどであった。

平成31年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
退居	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
入居者数	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	15	—

平均入居年数 男性 3年7ヶ月 女性 5年9ヶ月 全体 4年8ヶ月

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0.0
70～74歳	0	0	0	0.0
75～79歳	0	1	1	6.7
80～84歳	2	1	3	20.0
85～89歳	2	3	5	33.3
90～94歳	4	2	6	40.0
95～99歳	0	0	0	0.0
100歳～	0	0	0	0.0
合計	8	7	15	100.0

最高年齢 男性 94歳 女性 93歳

最低年齢 男性 82歳 女性 76歳

平均年齢 男性 89.1歳 女性 86.3歳 全体平均 87.8歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3	1	2	6	2	1	0	0	15
構成比 (%)	20.0	6.7	13.3	40.0	13.3	6.7	0.0	0.0	100.0

平均要介護度 男性 要介護1 女性 要支援2 全体 要支援2

待機者： 個室 7名 2人部屋 0組

施設見学者7名 問い合わせ（電話等）15件 申込者7名

### 3. その他事業

#### 【配食サービス】

営業日数308日、食数927食（昨年比95.2%）、一日平均3.0食であった。

#### 【消防・防災】

総合訓練を5月に1回、東近江消防署合同訓練を3月に実施した。夜間想定避難訓練を年2回実施したが、時期の偏りがあった。年2回の消防設備点検を実施した。

#### 【人事考課制度】

6月に平成29年度下半期評価、総合評価を実施し、「A」評価の職員については、評価賞与、評価昇給を実施した。12月に上半期の評価を実施し、「A」評価の職員については、評価賞与を支給した。

#### 【衛生委員会】

新しいテーマを含めて月1回実施した。

4月	年間計画及び課題について	10月	ハラスメントについて
5月	食中毒について	11月	感染症について
6月	梅雨時期の過ごし方について	12月	健康診断結果について
7月	交通安全について	1月	VDT作業について
8月	アンガーマネジメントについて	2月	労働環境について
9月	メンタルヘルスについて	3月	三大疾病予防について

#### 【委員会活動等】

（研修教育体制チーム） 会議開催数8回

人材確保・定着、職場環境改善のための議論を重ねた。人材確保の機会であるびわこ学院大学職場説明会の内容について検討した。

（事故、苦情防止委員会） 委員会開催数5回

事故、苦情を分析し、全事業所に周知し、課題を共有した。事故防止強化月間を実施、交通安全DVD全体研修、各事業所単位のリスクマネジメント研修会を実施した。事故310件、苦情29件（昨年：事故273件、苦情28件）と昨年より増加した。

（環境整備委員会） 委員会開催数8回

法人の公益的な取り組みである羊の飼育にあたり、羊の名前、飼育場所の名称について、職員に募集、決定をした。職員交流ボーリング大会、夏祭り打ち上げ、法人忘年会を企画実施した。感染症、食中毒にかかるポスターを掲示し、啓発に努めた。

#### 【職員研修等】

外部研修及び会議に延304名を派遣するとともに、施設内研修会を3回、参加者を増やすため各事業所単位の研修会を多く実施した。認知症ケア向上のため、認知症基礎研修に6名、認知症実践者研修に2名参加した。

※施設内全体研修会

実施日	テーマ	講師等	参加者数
6月26日～7月1日	食中毒研修	DVD	77名
9月12日～19日	交通安全研修	DVD	61名
9月19日	人権学習会	藤野智誠 氏	18名

※施設内事業所研修会

実施日	テーマ	部署	参加者数
6月26日	褥瘡拘縮予防勉強会①	特養	9名
8月22, 27, 31日	第1回リスクマネジメント研修	短期入所	12名
8月28日	リスクマネジメント研修①	特養	6名
9月25日	認知症勉強会	特養	11名
10月23日	感染症予防研修	特養	9名
11月13日、29日	第2回リスクマネジメント研修	短期入所	10名
11月27日	感染症予防研修	ケアハウス	2名
11月31日	感染症予防研修	訪問介護	4名
12月第1週	感染症予防研修	短期入所	14名
12月6日、7日	感染症予防研修	通所介護	14名
12月25日	褥瘡・拘縮予防勉強会②	特養	8名
2月26日	認知症勉強会	特養	11名
3月26日	リスクマネジメント研修②	特養	11名

【職員講師派遣等】

各種団体等の研修に職員講師の派遣をした。

日付	内容	派遣人数
5月9、23日	滋賀県主任介護支援専門員指導者養成研修	1名
7月13日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程Ⅰ	1名
9月8、9日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程ⅡCコース	1名
9月16日	外国人介護職員養成研修（介護保険）	1名
10月8日	介護職員初任者研修（自立に向けた支援）	1名
10月21日	介護職員初任者研修（介護保険）	1名
11月19日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程ⅡFコース	1名
11月25日	介護職員初任者研修（生活と家事）	1名
12月2日	介護職員初任者研修（整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援）	1名
12月4日、25日	主任介護支援専門員更新研修演習指導者B、Cコース	1名
1月17、24、25日	介護支援専門員実務研修演習指導	1名
2月3日	介護職員初任者研修（介護課程の基礎的理解）	1名
2月4日	介護職員初任者研修（総合生活支援技術演習）	1名

【実習生、ボランティア受け入れ】

学校等より28名の実習生を受け入れした。また、多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。

実習
◇ 聖徳中学校 職場体験学習 2名
◇ 滋賀学園高校 介護職員初任者研修・介護福祉現場実習 19名
◇ びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 介護実習 2名
◇ NPO 法人街かどケア滋賀ネット 外国人介護職員養成研修施設実習 2名
◇ 東近江圏域介護職員初任者研修実習 3名

ボランティア

<団体>◇ 公益社団法人顔と心と体研究会（リハビリメイク） ◇ ひまわり会（喫茶・敬老会）  
 ◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り） ◇ 滋賀銀行（夏祭り） ◇ 中島商事（夏祭り） ◇  
 ワークホームズ（夏祭り） ◇ ライフテックミツダ（夏祭り） ◇ 株式会社大和（夏祭り）  
 ◇ かふかの里職員（夏祭り） ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き）  
 ◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り）  
 <個人>◇ 江頭翼（歌謡） ◇ ダイヤモンドクラブ（歌謡・踊り） ◇ 松尾貴臣様（ホスピタルライブ）

【地域交流・貢献】

建部老人会と協働し、地域住民と羊、職員の交流の場「カルナふれあい広場」を創った。建部地区サロンの支援のため、本格的に職員派遣を進めた。

日付	内容	参加者数
4月24日	たてべ福祉を語る場	10名
5月31日	たてべ福祉を語る場	10名
5月29日～ 10月31日	羊の飼育	—
6月12日	建部幼稚園交流会	65名
7月1日	サロン支援（山の神）	17名
7月5日	建部民協会議	12名
7月18日	サロン支援（建部南）	19名
7月20日	サロン支援（竹鼻）	22名
7月31日	たてべ福祉を語る場	10名
8月2日	サロン支援（北町）	32名
8月26日	カルナ納涼夏祭り	270名
8月29日	たてべ福祉を語る場	10名
9月11日	びわこ学院大学職場説明会	80名
9月25日	建寿会施設見学	7名
10月6日～ 2月17日	三方よし研究会主催介護職員初任者研修	9名
10月15日	建部の地域づくりを考える会	8名
10月25日	たてべ福祉を語る場	10名
10月24日	地域支え合い推進協議体いっそう元気！東近江	15名
11月5日	地域密着型サービス運営推進会議	7名
11月7日	建部幼稚園交流会	39名
11月16日	サロン支援（竹鼻）	16名
11月19日	たてべ福祉を語る場	8名
11月21日	建部の地域づくりを考える会	10名
11月27日	建部地区サロン交流会	35名
12月4日	ちょこっとおすそわけ（地域の野菜の提供）	
12月10日	たてべ福祉を語る場	8名
1月24日	たてべ福祉を語る場	8名
2月22日	たてべ福祉を語る場	8名
2月26日	サロン支援（北町）	17名

4. 年間行事等

4 月	2日職員全体会議 19日第1回経営会議	10 月	3日入居者健康診断 17日第7回経営会議 30日インフルエンザ予防接種
5 月	11日消防設備機器点検① 16日第2回経営会議 28日監事監査 28日第1回理事会 29日消防総合訓練 31日前年度上半期及び総合評価会議	11 月	2日職員健康診断・ストレスチェック 2日～22日文化月間（展示） 6日インフルエンザ予防接種 8日滋老協研究協議大会（3名参加） 8日消防設備機器点検② 21日第8回経営会議
6 月	13日第1回評議員会 21日第3回経営会議 28日職員交流ボーリング大会	12 月	1日建部日赤窓ふき作業 17日上半期評価会議 19日第9回経営会議 19日法人忘年会
7 月	19日第4回経営会議 26～27日近畿老人福祉施設協議会 奈良大会（3名参加） 22日建部民協中庭剪定作業 29日建部日赤除草奉仕作業	1 月	1日年賀式 16日第10回経営会議 25日第2回理事会
8 月	16日第5回経営会議 26日カルナ納涼夏祭り 30日夏祭り打ち上げ	2 月	20日第11回経営会議 22日第1回夜間想定避難訓練
9 月	26日第6回経営会議 30日カルナハウス敬老会 （台風のため中止） 20日～21日全国社会福祉法人経営者 大会 in 長野	3 月	6日東近江消防署合同訓練 7日夜勤者健康診断 14日マグロ解体ショー 20日第3回夜間想定避難訓練 20日第12回経営会議 27日監事監査 27日認知症対応型通所介護運営推進会議 29日第3回理事会